

みやぎGPNニュース



今回の
内容

- 話題提供 「SDGs達成度ランキング」日本の評価は？
- 新会員紹介 「坂元植林の家」
- 「Transformation not Recycle」 タイ王国のイノベーションが面白い

2022.9

Vol.22

★SDGs達成度ランキング2022年：日本3年連続ランクダウン：目標12「つくる責任つかう責任」が「深刻な課題」に

SDG DASHBOARDS AND TRENDS



JAPAN
19 / 163



OECD Countries

AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



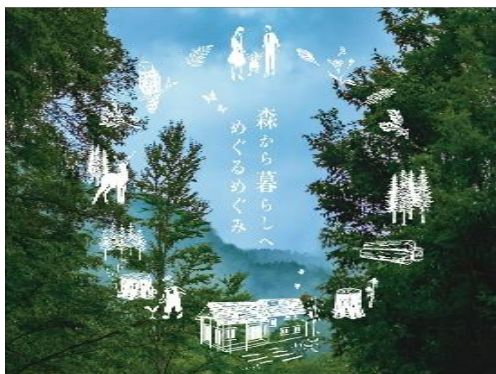
SDG DASHBOARDS AND TRENDS



SDG DASHBOARDS AND TRENDS

★緑「達成済み」は、目標4、目標9、目標16の三つ
 ★黄色「課題が残る」は、目標1、目標6、目標8、目標11の四つ
 ★オレンジ「重要な課題がある」は、目標2、目標7、目標10
 ★赤「深刻な課題がある」昨年度は、目標5、目標13、目標14、目標15、目標17の五つでしたが、残念なことに目標12「つくる責任つかう責任」の評価「重要な課題がある」から「深刻な課題がある」に引き下げられました。
 「深刻な課題がある」とされた目標は、いずれも近年、日本企業がSDGsのなかでも特に力を入れている項目ですが、取り組みは道半ば残念な結果となりました。出典：「Sustainable Development Report 2022」p252,253
 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」をめぐるっては、「女性国会議員の割合」が少ないこと、「賃金のジェンダー格差」の二つの指標が低評価につながりました。目標13「気候変動に具体的な対策を」では、「化石燃料の燃焼とセメント製造による二酸化炭素(CO2)排出量」「輸入品に含まれるCO2排出量」の多さなどが評価を押し下げました。目標12「つくる責任つかう責任」に関する指標では、「電子機器の廃棄量」が多いことに加え、今回加わった「プラスチックごみの輸出量」が多いことが評価を下げる要因となったようです。「捨てる責任」も重要課題となりそうです。

★新会員紹介 坂元植林の家 宮城県柴田町で明治41年から100年以上に渡り、林業を営んできました。



山に木を植える。四季折々の手入れを続け、森を育てる。
 のびやかに育った木を切り、製材し、大工の手刻みで家を建てる。
 そしてまた、木を植える。
 私たちは、この一連のプロセスをすべて自社で行っています。
 森をつくり、家をつくり、これからの時代の健やかで豊かな暮らしをつくる。
 地域をつくり、未来をつくる。
 私たちの家づくりは、人と自然との共生を大切にする「めぐるめぐみの環」をつくること。
 どうぞ一緒に、森から暮らしへ、めぐるめぐみの環の中へ。



持続可能な地域づくり、自然とつながるすこやかな暮らしを実現できるよう、坂元植林の家では、設計思想のベースに(人と自然が共に豊かになるような関係を築いていくためのデザイン手法)＝パーマカルチャーの考え方を取り入れています。

★パーマカルチャーについて

1970年代にオーストラリアで生み出され、さまざまな国に広がり実践されているパーマカルチャーは、人と自然がともに豊かになるような関係を築いていくためのデザインの手法で、パーマメント(永続性)、農業(アグリカルチャー)、文化(カルチャー)を組み合わせた言葉です。



★タイ特別編:「Transformation not Recycle」

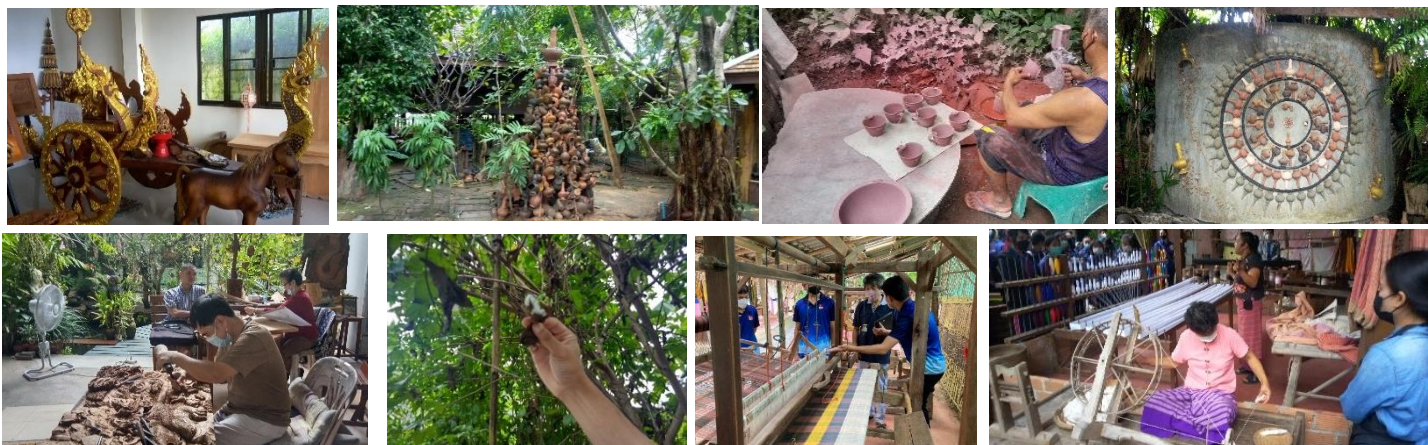
日本とタイ王国高校との国際交流コーディネーターとして、8月19日～23日タイ王国チェンマイを訪問。学校(カリキュラム・施設・授業の様子等)、ゴミ処理の現状、病院、文化、水資源、農業、地域コミュニティ等の調査・見学を実施しました。写真は、サステナビリティを目標にオフグリッド実践しているカフェのオーナーから紹介されたプラスチックrecycleの取組です。



Transformationフロー プラスチック + Sand ⇒ Fire ⇒ 煉瓦
 ※日本での取組み例)リサイクルの難しいプラスチック+砂防ダム沈砂+間伐材(水を使用しない)⇒煉瓦・舗装・造園用ブロック(〽)☆

このように飴やお菓子など個別包装のプラスチックごみを砂と一定の割合で回転する燃焼炉に入れ混ぜ合わせる簡単な装置です。プラスチックが溶けて砂と混ざりゲル状になったら木の型枠に流し込み自然冷却するだけで煉瓦が完成します。日常生活において様々な形で利用され排出されるプラスチックは、ペットボトルのようにボトルtoボトルとして100%リサイクルが達成可能な動きも出てきてはいるものの、その他のプラスチックがシステムとし大きな流れとなるまでにはまだ多くの時間が必要と感じます。当然「つくる側つかう側」のパートナーシップ形成も重要な鍵を握っています。気づかぬうちにたまってしまいうプラやビニール袋がこのような形に生まれ変わると思うとワクワクします。左から4つ目の写真に写っているエンタランスの敷き込みもリサイクル煉瓦です。用途に合わせてゴミから作って利用する♻️そんな取り組みを見つけたので紹介させていただきました。

★タイ特別編:カルチャー タイ王国第二の都市チェンマイから車で1時間の町にホームステイしました。郊外は農業が中心でお邪魔した農家では3種類の米を栽培していました。日本との違いは2月から9月まで長い温暖な気候が続くため田植えをしている田んぼ、成長期の田んぼと日本とは違う田園風景です。ブルーベリー農園でお話を伺うと年に3回収穫できるという事でした。木彫り、陶芸、織物など自然素材を元に仏陀を中心とした文化が今も受け継がれていました。



■情報発信 (毎週更新) えしかるちゃんと一緒に考えよう!

世界の平和を願う国連が、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 社会実現を誓ったSDGs。

SDGsについて理解を深め、あなたも社会を変える! 未来を変える! チェンジメーカーのひとりとして一緒に行動していきましょう。

みやぎGPN公認キャラクター! えしかるちゃん

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: mi-green@miyagigpn.net ホームページ: <https://www.miyagigpn.net/>



👉こちらからどうぞ



■SDGs出前講座開催中 SDGs NO.12実践による企業の具体的アクション掘り起こしを一緒に考えます。

■二酸化炭素排出量算定サービス 現状を把握し、省エネに向けた取組の推進と、クレジット取引によるカーボンニュートラル達成への道筋を見つけましょう。

・ご希望の方は、みやぎグリーン購入ネットワーク事務局までご連絡ください。

